

# 松戸市教育委員会会議録

平成28年12月定例会

# 松戸市教育委員会会議録

平成28年12月定例

開 会	平成28年12月14日(水) 14時00分	閉 会	平成28年12月14日(水) 15時46分	
署名委員	教育長 伊藤 純一	委 員	武田 司	
出席委員 氏 名	教育長 伊藤 純一	○	委 員 伊藤 誠	○
	教育長職務代理者 山田 達郎	○	委 員 武田 司	○
	委 員 市場 卓	×	委 員 山形 照恵	○
出席職員	内訳別紙のとおり			

提出議案	内訳別紙のとおり
特記事項	

# 教育委員会事務局出席職員一覧表

平成 28 年 12 月定例教育委員会

No.	部課名 及び 職制名	氏 名	No.	部課名 及び職制名	氏 名
1	生涯学習部 部長	鈴木 三津代	21		
2	学校教育部 部長	鈴木 孝則	22		
3	学校教育部 審議監	池上 誠一	23		
4	学校教育部 参事監	胡内 敦司	24		
5	教育企画課 課長	宮間 秀二	25		
6	” 課長補佐	大西 真	26		
7	” 主査	藤中 孝一	27		
8	” 主査	橋本 欣之	28		
9	” 主事	伊藤 翔	29		
10	社会教育課 課長	嶋野 嘉之	30		
11	” 課長補佐	東海 和代	31		
12	” 主査	齊藤 真一	32		
13	” 主査	千葉 寛	33		
14	生涯学習推進課 課長	林 総太郎	34		
15	” 主査	西山 幸子	35		
16			36		
17			37		
18			38		
19			39		
20			40		

## 平成28年12月定例教育委員会会議次第

1 日 時 平成28年12月14日（水） 午後2時00分より

2 場 所 教育委員会5階会議室

3 議 題

(1) 報告等

4 その他

## 平成28年12月定例教育委員会会議 議題目次

### (1) 報告等

- ① 平成29年松戸市成人式の実施について (社会教育課)
- ② 松戸神社神楽殿の絵画と修復展 (社会教育課)

**教育長** それでは、傍聴についてご報告いたします。

本日の教育委員会会議に、5名の方から傍聴したい旨の申し出があります。松戸市教育委員会傍聴人規則に基づき、これをお認めいたしますので、ご了承願います。

なお、これ以降傍聴の申し出がある場合には、事務局への受け付けをもって許可にかえることといたします。

それでは、傍聴人を入場させてください。

(傍聴人入室)

---

#### ◎開 会

**教育長** 本日、市場委員が都合により欠席されます。しかし、教育長及び委員の過半数が出席しておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の3の規定によりまして、本会議は開会することができます。

ただ今から平成28年12月定例教育委員会会議を開催いたします。

---

#### ◎会議録署名委員の指名

**教育長** 開会に当たり、本日の会議録署名委員を武田委員にお願いいたします。

**武田委員** はい。

**教育長** よろしく申し上げます。

---

#### ◎議案の提出

**教育長** それでは、日程に従い議事を進めます。

本日の議題は、報告等2件となっております。

では、ここからの議事進行は山田教育長職務代理者をお願いします。

---

#### ◎報告等

**教育長職務代理者** それでは、日程に従いまして議事を進めさせていただきます。

報告等は、「平成29年松戸市成人式の実施」についてです。

ご説明をお願いいたします。

**社会教育課長** それでは、成人式の開催についてご案内させていただきます。

平成29年1月9日の成人の日に開催する成人式につきましては、12月上旬に教育委員の皆様を初め、来賓の国会議員、県議会議員、市議会議員の皆様にご臨席のお願いについてのご案内をさせていただきました。成人式の実施概要につきましては、お手元に配付いたしました平成29年松戸市成人式の実施について及び松戸市成人式と題した見開きのプリントのとおりでございます。

主な内容は、昨年同様に式典、松戸市記念映像、新成人の主張、イベントの順で実施する予定でございます。

イベントにつきましては、「集え新成人、松戸市長に俺はなる」というタイトルで5人の立候補者が一日市長を目指して、コントやダンスを交えつつ、目指す松戸市像を語るという劇を披露いたします。

なお、4階のレセプションホールでは、選挙管理委員会と消費生活課が啓発コーナーを設ける予定となっております。

今回の対象者は、平成28年11月7日現在4,953名で、過去の出席率を勘案いたしますと、約3,000人程度の出席を見込んでおります。ご多忙のところ恐縮でございますが、お時間の許す範囲でご臨席いただきたくお願い申し上げます。

なお、お車でのお越しの際はあらかじめ送付いたしました駐車券をご持参の上、森のホール21の地下駐車場に駐車していただきたいと思っております。出庫の際に駐車場の守衛さんに駐車券をお渡しいただくと無料でゲートを出ることができます。

森のホール21の地下駐車場以外の駐車場は無料の対象となりませんので、ご注意ください。

また、電車でお越しの際は、八柱駅から成人送迎用のバスの利用することも可能でございますが、混雑することもありますので、あらかじめご了承ください。

バスでお越しの際は、八柱駅南口から新松戸駅行き小金原団地循環などのバスに乗車していただき、公園中央口で下車いただくこととなります。どうぞよろしくをお願いいたします。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。ご質問、ご意見等ありますでしょうか。いかがでしょうか。

**山形委員** 啓発コーナーについて、以前子宮頸がん検診啓発が成人式に松戸市で行われたのを数年前にインターネットで見ました。今年はどんな啓発が行われるのかと思って、興味深く

聞いていたのですが、選挙とほかにもう一つ消費生活についての啓発、その部分が少しわからないので、どのような啓発をするか教えていただけますか。

**社会教育課長** まず、この啓発コーナーでございますが、ご質問の回答の前に、この募集の仕方でございますが、庁内のグループウェアを使って全課に何か啓発するようなものとか、成人式のほうで何か出したいものがあるかということをお声がけしまして、そうした中でお声をいただいたものについて今回出させていただいています。あと、消費生活コーナーでございますが、やはり今いろんな悪徳商法が多うございますので、そこら辺に若い人たちがひっかからないようなものを啓発物資としてパンフレット等を出して、声がけをするという話を聞いております。

あと選挙管理委員会につきましては、選挙の啓発ということになっております。

**山形委員** ありがとうございます。

**教育長職務代理者** よろしいですか。

そのほかいかがでしょうか。

それでは、私から、スタッフは今年学生といいますか、新成人スタッフはどのくらい、あるいはそれをリードしていただく若い方々も何人もいらっしゃると思うんですけども、どういった陣容で、どれぐらいの会議を重ねて来られたか、教えていただいているんですか。

**社会教育課長** 今回は、現在16名のスタッフで行っております。16名につきましては、主に出身の中学校からの推薦、または自分から広報等で名乗り出た者、そして今回集まっていた方の友達に声がけしていただいた方、そういったさまざまな方で構成しております。それで、最終的に今24名にまでなっております。結構途中でいろんな声がけとかでだんだんふえまして、今年については結構多うございまして、24名となっております。

**教育長職務代理者** あと何か数年前に成人式を迎えた方というのも、大体毎年お手伝いいただいていたのですが、その方を入れて24ということですか。

**社会教育課長** いえ、それはまた別でございまして、今回お声がけした中では、7名の方が一応御協力いただけるということで、今のところご連絡いただいております。いつも間際になってまた行くよという声をかけてくれる先輩方もいらっしゃいますので、今後さらに増える可能性はございます。ただ、現状は7名の方から行きますというお声をいただいております。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。そうすると打ち合わせとか会議とかでリードしていたわけじゃなくて、それは新成人スタッフが主にやってきたということですね。

**社会教育課長** 基本的に成人式を進めるのは、今回新成人を迎えるスタッフが中心となります。



既に過去に経験した、そういったOB、OGの方々につきましては、受付であるとか、そういったアシスト業務に入らせていただいております。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。企画が松戸市長に俺はなると、市長がどきどきしていないですかね、大丈夫ですかね。

何かご意見、ご質問ありませんか。

**山形委員** この5名はどのようにして選ばれたのか、教えてください。

**社会教育課長** あくまでもこれは劇でございますので、今回の新成人が中で配役を決めて、ちょっとコメディーっぽい部分はあるんですけども、今余りお話しし過ぎちゃうと楽しみがなくなるかなと思いますので、当日を楽しみにしていただければと思っております。

**山形委員** これは新成人スタッフからということですか。24名の中から選んだ者ということで、このイベントに別枠で公募したというのではなくて、この24名の中から厳選してチームをつくって披露するという形でよろしかったですか。

**社会教育課長** そのとおりでございます。あくまでも今回のスタッフの中で自分たちで配役を決めて、いろんな役がございますので、あと陰マイクをやる方とか、表に出てこない方、あとメーンの司会をやる方とか、そういった持ち回りの中で今回の立候補者という配役のもとやっているという形になります。

**山形委員** ありがとうございます。別で公募して、「市長になる」というテーマで、出たいという若者がほかに出たのかと思いました。自分で何かをやりたい、発信したいという若者がSNS等ですごく増えてはいますので、そういうところで何か公募したのかと。そういうところで確認しておきたかったのですが、ありがとうございます。

**武田委員** いつも21世紀の森で気になるのが、交通なんですけれども、随時シャトルバスが出るというふうに書いてあるんですが、毎年やっていることなので、混乱はないと思うんですけども、改善とか、例えば駅から徒歩で来る場合などのことについて、今後こういうふうにしていくみたいなことを考えているとか、そういうものがあれば教えていただきたいなど。

**社会教育課長** やはりちょっと駅から遠くて不便だというところがございますので、やはり皆さんいろんな方法、車であり歩いてきたり、または家族に乗せてもらって来て落としてまた戻られたりと、いろいろ方法があるかと思いますが、ただ結構例年多くの方にお出でいただいている中で、ちょっと改善、現状においてはなかなかいい策がちょっと見つからない状況でございます。ただ、送迎のバスを今八柱駅南口から出しているんですけども、場合によっては北口とか、そこら辺からの発車も検討しておりますが、周囲への影響だとか、それか

ら駅への案内とか、そこら辺も含めまして今後の検討課題であるのかなとは認識しているところでございます。

**武田委員** 可能ならばですけども、南口、北口というのものもあるかもしれないんですけども、もう少し違うところからという発想もあると良いと思います。集合するにしましては、余りにも駅周辺に3,000人が集まるのはちょっと厳しいかなというふうに思います。例えば可能かわかりませんが、松戸駅からとか、そういうもうちょっと離れていても集まりやすい場所からというものもあるのかなと。松戸市も広いので、少しこの辺改善していくと、天気がよければ滞りないかと思うんですが、やはり天気が悪いとちょっと気になる部分が、出てくると思います。来たくても遅刻してしまったとか、遠いから面倒くさいからやめたとか、そういうことが減るよというようにということを少し考えていくといいのではないかなと、思っております。

以上です。

**教育長職務代理者** よろしいですか。私の実は娘が該当者でございます。言うとなんか個人的な希望になってしまうので、やめておきます。ただ、今後に向けてという意味で、何ていうんですかね、家庭教育と学校教育、あるいはそこから社会教育への成人式というのは橋渡しの機会であり、唯一の機会なので、どうあるべきかについて、ぜひ不断の研究と努力を社会教育課にはお願いしたいなと思っております。新成人スタッフの総意を引き出していくという、今非常にこれはこれで、一つの形として定着しつつあります。いろいろと運営上不具合のあった年もありましたし、今年度というんですか、昨年度というか、この1月のときには大変すばらしい運営もされましたし、いろいろあると思うんですけども、そんな中で子供たちの発信と、子供たちじゃないですね、新成人の発信とそれから我々大人からのメッセージがうまく一致していくといいなというように常に思っておりますので、そういった目で、もうここまで来たらぜひ大成功に終わっていただきたいと思っておりますし、来年以降どうするのかについて、またそういう思いで私も拝見させていただきたいなと思っております。よろしくお願いたします。

それでは、ほかなければ、この件につきましては終わらせていただきます。よろしいでしょうか。

それでは続きまして、松戸神社神楽殿の絵画と修復展についてです。

ご説明をお願いいたします。

**社会教育課長** それでは、企画展の開催についてご案内させていただきます。

お手元にお配りしておりますチラシに沿ってご説明させていただきます。

年明けの1月21日から3月5日まで、松戸戸定歴史館におきまして、明治21年の佐竹永湖とその周辺、松戸神社神楽殿の絵画と修復展と題する展覧会を開催いたします。開催趣旨でございますが、松戸神社神楽殿が明治21年に建立されたときに描かれた杉戸絵と天井絵を紹介する展覧会でございます。平成26年松戸神社において神楽殿の建てかえが行われましたが、その際、これらの絵画の保存修復事業が実行委員会によって行われ、昨年の秋改築された神楽殿に設置されました。そして、この杉戸絵と天井絵につきましては、今年の7月の教育委員会会議においてご承認いただき、市指定文化財として指定させていただいたところでございます。

展覧会におきましては、この保存修復事業も含めてご紹介いたします。さらに、これらの絵画等を描いた佐竹永湖を初めとする佐竹派一門の画家たちの作品をあわせて展覧いたします。作品が25点、関連資料32点、計57点を展示させていただきます。

主催者につきましては、松戸市教育委員会と今回の保存事業を行いました松戸神社神楽殿絵画修復実行委員会の共催となります。また、展覧会に対しては自治総合センター、公益財団法人、朝日新聞、文化財団から助成をいただけることになっております。

広報の方法といたしましては、市内の駅張りポスター、常磐線新京成の車内窓上ポスター、松戸駅、上野駅のデジタルサイネージへの掲出、市内町会掲示板への掲出などを予定しております。会期中は講演会、ギャラリートーク、ワークショップ、松戸宿まち歩きツアーと盛りだくさんのイベントを実施し、市民の皆様さまにさまざまな切り口で松戸ゆかりの美術を楽しんでいただきたいと思いますと考えております。どうぞご高覧くださいようお願い申し上げます。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。以前、これは議案で出ておりますので、既に名前については多少なじんでいるかと思っておりますけれども、そういったことでございます。

何かご質問等がありますか。あるいは武田委員、コメントをぜひお願いします。

**武田委員** ワークショップに、元校長先生の泉先生が杉戸絵を描いてみようというのをなさってくださいっていますね。これは現行でも今、泉先生が各学校のクラブ活動へ出向いてこういったことを遂行して下さっているというふうにお聞きしています。とてもいい機会ですので、ぜひ皆さんもとは言いがたいところではございますが、学校の生徒たちにも、できれば見ることぐらいはなるべく経験していただきたいです。こういったワークショップとか修復保存の講演会なんかも非常に将来の職業を選ぶという意味で、こういうものもあるんだということを知るいい機会になると思います。今、佐竹永湖さんと錦谿さんは余りメジャーにな

っていないので、そんなに注目していないかもしれませんが、今、江戸絵画は物すごく日本中でブームですので、ぜひそういった告知を校長先生の口から児童生徒の皆さんなどに言っていただくと、多少なり気持ちのある方は行っていただけるのではないかと、思います。見ると気持ちが大分変わると思います。やはり印刷物と本物は全然違いますので、ぜひ皆様もお忙しいと思いますが、私が言うのも何ですが、見てみたらすごく感動すると思います。

以上です。

**社会教育課長** 今せっかく武田委員さんに学校での日本画の作成について触れていただきましたので、ちょっとついでに宣伝させていただきます。

市内の10の中学校と県立高校1校で、日本画の絵画教室をさせていただきました。その作品を生徒たちが作った作品を、松戸駅の東西自由通路のギャラリーで12月22日から展示させていただくことにしております。全部で133人の美術部員とかの作品がございますので、もしお時間があれば、お通りの際はちょっとご覧いただければと思います。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。日本画ということはあれですね、絵具が違うわけでしょうね。顔料というか。

**武田委員** 皆さんご存じだとは思いますが、岩絵の具というもので、なかなか経験する機会がなく、日本画というのにそれを知らない日本人が非常に多いという、残念な状況にあります。ああ、こんなもので書くんだという材料や工程ぐらいは何となく知っていて、オリンピックもありますから、外国人が日本画って何って聞いて来たときに、その工程ぐらいは説明できる日本人になっていただけたら非常にありがたいなと思います。

このたび恐らく荒井先生のほうからの修復のときに、剥落がすごく少なくていい状態で保存できたということはお声が出るのではないかと思います。胡粉というものがすごくきれいに残っているのが、この神社の杉戸絵の非常によかった点だと私は思っているのですが、ぜひそういう部分も何が貴重なのかとか、そういう部分に関しても関心を持って見るいい機会になっていると思います。ぜひ私は伺ってみたいと思います。

**教育長職務代理者** 重ねてありがとうございます。ぜひみんなで体験を。そのうちに、もっと有名になるかもしれませんよね、やっぱりそれだけの価値のあるものということでもありますし、ぜひみんなで拝見したいというふうに思っています。この点、よろしいでしょうか。

それでは、ほかご質問等ないようでございますので、その他に移らせていただきます。

事務局よりのご報告、「家庭教育学級の広報」についてありますか。

生涯学習推進課長 生涯学習推進課長でございます。

先般の会議のときに、山形委員さんのほうから、家庭教育学級の広報の現状についてということでご質問をいただきまして、資料をご提供させていただいたところなのですが、委員さん皆様に共有していただくということで、改めてご説明をさせていただきたいと思います。

お配りさせていただきましたこちらの裏表のほうをご覧いただきまして、メインでご説明させていただいているのが、まず広報ですね。これは4月の一番最初のときの広報のものを参考につけさせていただいているんですけども、「いきいき子育て、出会い、学び合い、高め合い」ということで、家庭教育学級に入級してみませんかというようなことで、定番としては毎年こういう形で広報で呼びかけをさせていただいております。

そのほか、まなびいネットは今日追加で後から配らせていただいたんですが、生涯学習、社会教育の関係全般について専門に取り扱っているホームページがあるんですけども、こちらのまなびいネットのほうにも家庭教育学級の専用のページがございます、そちらのほうでいろいろな情報提供をさせていただいているところでございます。

それ以外ですと、上から順番に合同開級式ですとか記念講演、そういったいろいろな大きなイベントが年間あるんですけども、そういったときにチラシを配布したり、ただいまお知らせしたまなびいネットの存在ですとか、いろいろな方たちに家庭教育学級があるということをご案内をしております。

それ以外、校長会、教頭会への発信、あるいは松戸45校全ての1年生の保護者向けの誘いのチラシの配布ですとか、今年より始めましたが、就学時検診のときの家庭教育学級のPR活動、それ以外、松戸市のホームページですね。それとあとパートナー講座のほうで、家庭教育学級のPRということで市民の方からご要望がありましたら、出前講座という形で家庭教育学級についてのPRもさせていただいております。

裏面をご覧いただきまして、上のほうから家庭教育学級で活動していただくことにつきましては、こちらのほうで報告を受けまして、また各学校のほうに配布をするという形で情報の共有を図っています。また、研修会、情報交換会ということもやっているんですけども、各学校の家庭教育学級の代表者の方に集まっていただいて、皆さんで家庭教育学級の取り組み状況をお互いに共有していただき、またその中のいいアイデアがあったらお持ち帰りいただいたり、あるいは共同で何か講座を企画していただいたりとか、そういったようなことも努めております。

あとそれ以外ですね、下に書いてあるとおり、いろいろな機会を通じてPTAの方たちの

ご協力をいただいたり、あるいはよその課で家庭教育や子育て関係のイベントがあったときには、こちらのほうで出向いて行って、こういったPRをさせていただきながら、少しでも多くの皆様に知っていただくように努力しているところでございます。

今後ですけれども、こちら配りましたこの家庭教育学級については、まなびいネット、家庭教育学級のコラムのページがあるんですが、今のところまだ生涯学習推進課のほうで、こちらのほうは運用している状況があります。行く行くは45校、全ての家庭教育学級の方たちに自主的にこの中に書き込みをしていただいて、ご自分のところの家庭教育学級の情報提供だとか、そういったような形に発展させていきたいなというふうには考えているんですが、これはもちろん家庭教育学級は、お母さんやお父さんが自主的にやっているんで、こちらでご協力を求めながら、一緒に進めていきたいというふうに考えているところです。

それ以外も今、市のほうではツイッターですとかフェイスブックも始まったんで、若いお父さん、お母さんはどちらかというと紙ベースの広報よりも、そういった情報発信のほうが気軽にとれるのかなということもあるんで、今後はそういうものも活用してまいりたいと考えております。

以上でございます。

**山形委員** ありがとうございます。山形です。

私が今6年生の保護者として、当初やはりワーキングマザーだと、4月だけ、入学時に広報があって、そこから1年ぐらいは続けられたんですが、その後、続けられなくなりました。やはりワーキングマザーはすごく増えている現状なので、このようなものがあるアテンドが早い時期がいいなと思ったところです。就学時健診での案内は大変いい活動だなと、思いました。事前にワーキングマザーは1カ月前のとか2週間前の予定変更は本当に難しく、特に平日開催が多いじゃないですか。そこの部分で参加したくてもできないという現状が多数声も入っていますし、私自身も本当に参加は魅力的な講座がたくさんあって、参加をとてほしいんですけれども、できない部分があるので、そこの部分を45校が個々に発信できるような、つくり上げていくような発信の仕方はすばらしいなと思いました。SNSの動きがあるようなもの、私自身も、そういうものも活用しておりますので、そういう敷居の低さも見せながら、質の高い啓発の家庭教育のことを伝えていっていただきたいと思います。

このまなびいの後ろに、ちょうどサイバー犯罪、SNS講座というのがあったんですけれども、不審者メールが多くありますが、ほとんどの学校での登録するメールは、全てのお母さんたちに届くので、例えば学校のメールの一番下のリンクに、いろいろな情報の中で家庭

教育のリンクを一つだけ張ってもらうのが、全く手間ではないのかなと思います。不審者ってやっぱりせつない情報ではあるが、ほかにも例えば校外学習が遅れて到着しますと、その下にちょっと情報があったりとか、そういうところでお母様たちはとんで見にいたりとか、お父様たちにもリンクがとぶので、そのようなところで、紙ベースで見られない方への発信にもつながるかなと思います。引き続き、このようなすばらしい啓発をよろしく願いいたします。ありがとうございます。

**生涯学習推進課長** 参考になりました。いろいろ工夫させていただきます。よろしく願いします。

**教育長職務代理者** ちょっと確認ですけれども、これは2ページ目、3ページ目は平成27年度と書いてあるのは、これは27年度のくりに2016年のが入っているということですか。いや、この表題のつき方がたまたまなのかどうなのか、ちょっとわからないので、念のための確認です。

**生涯学習推進課長** これはうまく印刷ができませんが、本当はこういう全画面が出てくるものなんですけれども、あけるとこの上のところに今年度の検索になると、平成27年度というふうに、これが上にデザインとして出てくる部分と、それからたまたま今あけたところの古い履歴のところとはちょっと別なんですけれども……

**教育長職務代理者** ああ、そうですか。28年度は28年度……

**生涯学習推進課長** はい、うまくちょっと印刷ができなかったので、申しわけございません。

**教育長職務代理者** いや、それだけなら結構です。ぜひこういうのは、サイバー犯罪のは小金原の3校で合同でやっている。こういう取り組みをやっていきたいみたいなことを、この間もおっしゃっていたかのように思います。それで31名ですね。月曜日の昼間なんですかね、やっぱりね。

**生涯学習推進課長** あとは、今働いているお母さんやお父さん向けということで、これまでは余りやれていないんですけれども、小学校は本当に松戸市は全国と比べても45校に置いているということで、特色ある家庭教育学級ではあるんですが、小学校へ行っているお母さんたち、お父さんたちで働いている方用に夜ですとか土日用に専用の家庭教育学級を逆にやっていなかったもんですから、どのぐらいそのニーズがあって、実際に利用されるかわからないんですけれども、新年度はそういったところでも、まずスポット的に呼びかけてみて、やってみてどのぐらいの実効性が上がるのか、それも試してみたいなというふうには思っているんで、ぜひそういう機会にもご参加をいただければと思いますので、よろしく願いした

いと思います。

**教育長職務代理者** はい、ありがとうございました。まなびいネットから正面から探してくだされば一番いいんですけども、そうでない方には、先ほどの学校のメールの端っこに、ちょっとリンクがあるという、必要とする情報の最後にそういうのがあるというアプローチは非常に参考になりましたですね。山形委員は大変にその方面に強く、スマホを使いこなしているからでございますので、どうぞ今後とも……

**生涯学習推進課長** ありがとうございます。

**教育長職務代理者** ぜひお願いします。

**教育長** 質問なんですけれども、この3校合同のような、こういう取り組みはふえてきていると思うんですけれども、ほかにはどのぐらいあるんですか。

**生涯学習推進課主査** 西山と申します。

それは小金原のかと思うのですけれども、それ以外、六実地区でも六実小、二小、三小で合同で、今年はお小遣いについてのテーマでやっています。あとPTAのとかもありますし、その時に応じていろいろやって、これからも増えるように声をかけています。それ以外に、人数が少ないところもまだあるので、そういうところが一緒にやってみましょうとか、あと、ある学校でやる、それはその小学校の家庭教育学級でやるんですけれども、それをほかの学校の家庭教育学級生が訪問して一緒に学び合うというようなことをやっているところもあります。少しずつ広がっておりまして、土日なんかも親子で行くというのも最近増えておりますし、今年は蛍を21世紀の森で見ることができるといことで、学校では夕方からそれを家庭教育学級としてみんなで行ってみたいといことで、会社帰りのお父さん方も集まってというような会を開いた学校もあります。それはどれも自主的に自分たちで考えてやっているという次第です。

**教育長** それで、ふと思ったのは、45校それぞれPTAのように単独が基本じゃないですか、今は。でも、その45校がどこに参加してもいいというふうなシステムは無理かなと思ったんです。

**生涯学習推進課主査** 無理ではないと思います。話題の提供の仕方次第ですので……

**教育長** いや、そうじゃなくて、その都度その都度ではなくて、松戸市の家庭教育学級全体のシステムとして、もちろん単独は尊重するけれども、基本的にどこの学校の家庭教育学級のイベントにも参加して基本的にいいという、そういうふうなシステムづくりはどうなのかなと今聞きながら思ったので、ちょっと検討してみてください。



**生涯学習推進課主査** はい、検討します。一步前に出て頑張ってみたいと思います。ありがとうございます。

**教育長職務代理者** 山形委員が今反応していましたが、何か。

**山形委員** 山形です。

実際に家庭教育学級の委員をやらせていただいて、講師をお招きして募集し、お母様たちが来るというときの人数の把握とプリントの準備なども全部、お母様たちがやっているの、全体となったときに、役員のお母様たちにかかるご負担がちょっと大きくなるかなというのを、現状として体験者として感じました。でも、システムをもっとシンプルにして、今どきのメールでQRコードでピットやって配信して統括してエクセルが全部出てきて、ぱっぱとできるというようになればいいのかなとも思うのですが、そこでやっぱりサポートするような方が入らないと、お母様たちにもパソコンがバリバリ使える人と全然使えないという方もいらっしゃる現状です。パソコンは使えなくても手書きですばらしいお手紙を書かれたりとかはするので、そこもすごくいいものはあるんですけども、お母様たちのご負担が増えるようなことがなければ、すばらしい取り組みになると思います。

**教育長職務代理者** 前向きな検討をする中で解決ができればということだと思います。

そのほか、家庭教育学級、広報はよろしいでしょうか。

**伊藤委員** すみません、私は家庭教育学級に直接関係したこともないので、基本的なことかもしれないかもしれませんがおたずねします。そもそも家庭教育学級に入級しませんかと保護者の方にお誘いするわけですから1年生が多いわけですね、新しく1年生になるわけですから。ところが例えば3年生の保護者の方が、今年から入ろうということに入ることもできるわけだし、したがって、1年生から6年生までの保護者の方が対象で、この学級に入級するということですので、もし全員が入級したら何百人という数になるわけだと思うんです。しかし、3校合同でやられたイベントに31名しか参加されなかったということから見ても、実際の参加率というのは非常に低いのかなと思うんですけども、家庭学級に入級されている方の各学校ごとのというか、平均でいいんですけども、大体どのぐらいの割合の方がこの家庭教育学級に入っておられるのかということを知りたいのですが。

**生涯学習推進課長** 前回の会議のときに少しご説明させていただいて、きょうはちょっと資料、手もちにないんですけども、とにかく学校の規模と比例しています。小さい学校ですと1学年1クラスという学校も当然あるわけなので、そのお母さんたちやお父さんたちが出てくるわけですね。

伊藤委員 1学年1クラスというのはどういう意味ですか。

生涯学習推進課長 1学年で1クラスしかない学校もあるわけですよ。

伊藤委員 はい。

生涯学習推進課長 だから6年生までで6クラスしかない学校もあるわけですね。

伊藤委員 はい、別にそれで結構ですよ。

生涯学習推進課長 多いところは何百人という学校もありますし……

伊藤委員 だから、私が聞いているのは……

生涯学習推進課長 ですから、それに比率でいくんで、平均すると大体30人前後かと思います。

今言ったとおり、学級数の少ないところだと、本当に1桁という学校もあります。

伊藤委員 ですから、学校の人数が小さいところだと、今300人ぐらいですか。

生涯学習推進課長 いや、そんなにいないですね。

教育長 小さいところで200何十人ですね。

伊藤委員 だからまあ200人ぐらいですか。それで多いところは600とか700とかいますよね。

それと、ですから1割ぐらいの人が入っているのか、あるいは5%程度なのかとか、そういうことをお聞きしただけです。

生涯学習推進課長 七、八%です。それとやっぱり地域差がございます。

伊藤委員 もちろん、平均で結構です。

生涯学習推進課長 共稼ぎの方たちが多い……

伊藤委員 平均、ならして七、八%程度で、10%の方も行っていないという感じなんですね。

生涯学習推進課長 そういうことの中から共同開催、多分山形委員さんは昔おやりにいただいたときは、そういった柔軟な取り組みはしていなかったと思うんですけども、今はそういった方たちに参加しやすいように共同開催ですとか、そういう形をとっています。

伊藤委員 そうすると入級するときに、何かやっぱりハードルがあるんでしょうか、皆さん何か入ると何かこう、役員をやらせられるんじゃないかとか。

生涯学習推進課長 まず第一に、私も経験者ですけども、家庭教育というものについて、わざわざ外で教わる必要があるのかというところのハードルが一番高いと思います。もう一つのハードルは、やはり今共稼ぎ世帯が増えておりますので、物理的になかなか参加ができないということがあると思うんですね。ですから、その辺を啓蒙しているんですけども。

伊藤委員 私も申し上げたと思うんですけども、参加ができないというのは、平日の昼間に何かやったって、それはなかなか参加できないんだけども、それを例えば土日にやるとか、

あるいは夜にやるとか、いろいろ制限はあるんでしょうけれども、そういう工夫をして、もっと参加しやすいようにすれば、そもそもそういう入級される方が増えるのか、あるいはもうそもそも家庭教育について外のお世話にならなくても、自分のやり方でやるんだということであればどんなに手をつくしても入ってくる人はほとんどいないというふうに考えられるのか、その辺のところはどう見ておられるんですか。

**生涯学習推進課長** ですから、先ほど申し上げたとおり、新年度は今までにやっていない時間帯ですとか曜日についてもテストケースですけれども、少しやってみて、まさに伊藤委員さんがおっしゃるように、そのニーズがあるのか、やっても本当に参加されないのかというようなことについては、少し検証してみたいなというふうに思っております。

**伊藤委員** それでは若干その辺は試行錯誤的だというような感じですか。

**生涯学習推進課長** でも、いずれにしても、これは啓蒙はしていかないと、経済的にも余裕があるし、本当に貧困で出てこられないという人は本当に一部いらっしゃると思うんですけれども、そういうことじゃなくて、経済的にも余裕があるし、時間的にも余裕があるけれども、ただ、私には関係ないわ、俺には関係ないわというような人も実際多いと思うんで、その辺をどこまで踏み込んでお知らせをできるのかなど。関心のない人に情報を伝えるというのは、多分一番難しいと思いますので、その辺はだから、参加されている家庭教育学級の保護者の方たちも含めて、口コミみたいなことも含めながら広めていけたらいいなと。

そういう中では、前回ちょっとご説明した、松戸市の幼児教育のパンフレット、あれが結構起爆剤になっていまして、あれがいろんなところで講演会なんかやっても、かなり初めてあれを見た中で家庭教育の重要性ということにお気づきになっていただくケースが今増えていますので、当面はああいうものうまくマグネットにしていきながら、関心を高めていただきたいなというふうに思っておるところです。

そういう意味で、この間説明しましたが、動画配信、ユーチューブだとかいろんなもので配信をしながら、少しずつ関心を高めていこうとは思っております。

**伊藤委員** 実際にこの家庭教育学級でやられていることについて、そこへ行かない人はそのよさというのが、なかなかわからないわけですよ。単に自分は忙しいから行かないというだけじゃなくて、何やっているかわからないから、もう結局行ったらって無駄でしょうというような感じで行かないということもあり得るので、その行かなくてもどういった話があったのかということは、今はネットでわかるんですよ。

**生涯学習推進課長** そうですね、そういう発信のためにこういうものも運用していますが……

伊藤委員 今もやって、もう既にあるわけですね。

生涯学習推進課長 はい。ただ、まだまだ全ての人に知られているわけじゃないんで、その辺の努力をこれからしていかなければ。

伊藤委員 それはどなたがつくっておれるんですか……

教育長職務代理者 ちょっと言葉が重なると議事録が困るので、すみません、ちょっと切ってください。

生涯学習推進課長 すみません。

教育長職務代理者 じゃ、いいですか。

生涯学習推進課長 生涯学習推進課長です。

まさにそういうためのまなびいネットだとか、そういった新しいツールを開発して、今動いていますけれども、こういったものも決して長い時間運用されているわけじゃないんで、来年度もいろいろカスタマイズを今考えていますけれども、できるだけ多くの人が見やすく使いやすくということを考えて、引き続きやっていきたいと思えます。

教育長職務代理者 内容が伝わるように努力をしていくということですね。

伊藤委員 そうすると、このサイバー犯罪についての内容というのは、まさしくこれはここで学習した内容とその感想ということで、これは教育委員会のほうで……

生涯学習推進課長 私どものほうで配信をしています。

伊藤委員 じゃ、確かにこういうものを、学級に入っていないなくても、こういったものを見ることによって、じゃ、こういう機会があるんだなということを知って、ああ、これはよさそうだから、じゃ入ろうという、そういう可能性もあり得るということですね。わかりました。

生涯学習推進課長 そうですね。それとさっき申し上げたとおり、45校の各学校のページもこの中に入れることができたとすれば、ふだん家庭教育学級に来ない方も、このページを見ながら情報をとることができるようになるし、それからスケジュールなんかも出せるようになってくれば、たまには顔を出してみようかなというようなことも期待できるのかなというふうに思っているんですけども。

伊藤委員 すみません、ちょっともう一点、ちょっとくどいようですけども、入っていないでたまには顔を出すというのはできなくて、やっぱり一々入級しないと入れないんですか。

生涯学習推進課長 それはフリーに入っていただくように、こちらではお願いをしています。

教育長職務代理者 自主的に運営している組織であるという大前提があるわけですね。その構成している、まさに山形委員のようなお母様方を中心とした人が運営しているというところ

ろで、何かばっと市でこういう方針でこうやってやるという、びっとはできないところもありますね、実際のこの当日の運営等については。ですので、そこら辺については、ちょっと私たちがよく理解を深めていきたいと思えますし、おっしゃるとおり、家庭教育学級だけがまた家庭教育のチャンネルかという、そうでもないはずの中で、ただ既存のチャンネルとしたら、これはやっぱりこれを生かしてやっていこうということは、教育委員会の方針であるのは間違いのない。そこにうまく助力をしながら、市で後押し、教育委員会で後押しをしながら、自主的な運営をできるだけみんなの目に届くようにしていくという、ここら辺は方針を立ててどんどんやるという、なかなか難しいところかもしれませんが、ぜひこれをやっていかなくちやならないなというところだろうと思えます。家庭教育学級の姿がなかなか接していないとわからないので、そんなことで理解を今日深めたということで、伊藤委員、よろしいでしょうか。

**伊藤委員** そうすると入級するということに対する何となく抵抗感ということでは、じゃ勝手に参加できるのであれば、入級しなくてあれを見て、ああ、じゃこれだけ参加しようとか、そういうことは。

**生涯学習推進課長** そういうことも当然認めていますけれども、先ほどお話ししたとおり、自主的な勉強活動なんで、年間の何を勉強したいかというカリキュラムを、参加しているお母さんやお父さんたち自らテーマを考えて、講師を呼んだりとかと、そういう趣旨でやっているものですから、主体的にかかわる方については入級していただくし、せっかくいい講師を招いたときに、先ほど申し上げたとおり、学校によっては入級している数が少ないんで、ふだん参加していない人も参加はオーケーですよということでは、当然やらせていただいております。

**伊藤委員** そうすると、この家庭教育学級に対する関心というのは、必ずしも入級している人の数だけじゃなくて、別にそれにこだわる必要は必ずしもないということですかね。

**生涯学習推進課長** 数字的には二重の数字があって、入級している人の数字と、イベントに参加した人の数字ということで、両方でとらせていただいております。

**伊藤委員** わかりました。

**教育長** わかりにくいシステムだと思います。要するに任意の団体ですので、学校側が把握しているかという、必ずしも一個一個の活動までは把握していないと思います。お母さんたち、お父さんたちがそれぞれ独立して活動される団体なので。ただ、松戸市のこの家庭教育学級というのは、ほかの自治体からしてみたら、とても珍しいと思います。ほとんど形骸化

している自治体とか、あるいはなくなってしまっている自治体とか、そういう中で今45校全部に一応きちっとあるということ自体、私は全国的にも珍しいのかなというふうに思っています。

七、八%というその加入率が高いのか低いのか、結局家庭教育ですから、先ほどの会話にもあったように、別に自分でやれる人は入ろうとする意思はもともとないわけで、でも、お母さんたちと集まって何かやってみようかなという人は集まってくるし、それぞれ、お一人お一人の考え方は当然違いますから、ひょっとしたら高いのかもしれないし、あるいは低いなのかもしれないし、でも、松戸市の今の状況としては、いつも申し上げているように、家庭教育そのものが私は危機感をいっぱい持たなければいけないような状況ですので、できればこのパーセンテージを少しでも上げるとともに、やっぱり家庭教育という、そのものに市民の皆さんの関心を持っていただく、それで質を向上させていく、あるいはみんなで子育てしようというふうな、そういう空気もつくっていききたいとか、いろんな効果のために、今は力を入れていくところかなというふうに考えておりますので、その辺でよろしくお願ひしたいと思ひます。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。思ひがけずいろいろご意見いただきました。ただ期待するところだと思ひますので、ぜひ推進課におかれましては、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

**教育長** すみません、さっき言ったのは一つの考えですので、無理しないように。今も言ったように、それぞれ独立していますので、全体に私たちのほうから強制することはできませんので、よろしくお願ひします。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。それでは、続きまして、委員のほうからまいりたいと思ひますが、まず私のほうでお願ひを事前に少ししておりました。11月21日月曜日から翌火曜日にかけまして、石川県金沢市で行われました市町村教育委員会研究協議会でしたか、第一ブロックについての報告をお願ひしたいなというふうに思ひております。

資料がお手元に行っていますでしょうか。それぞれで書いていただひてあるので、何枚かになっていると思ひますが、上のほうに2行目に私の名前が入っている裏表のものが1部。

それから、山形委員のお名前が入っている、大変立派なものが、写真入りのものが1部あります。

それから、伊藤委員からいただきましたものが2枚でしょうか。

**伊藤委員** いいえ、金沢の方は1枚だけです。

**教育長職務代理者** ああ、そうですね、もう一つは千葉県のほうですね、が1部。

それからあとは、事務局にも出していただいていますか。事務局から2枚ですね。事務局からは表に平成28年度市町村教育委員会研究協議会第一ブロックについてとなって、概要、1、2、3、4となって4から概要が書いてあります。裏表ですね。

それとあとは、第二分科会と第三分科会について書いていただいたものが、大西さんと藤中さんのものがありますね。ということです。

それでは、あんまり時間があるようできて、そんなにありませんので手短かに、私からご報告をさせていただきます。

まず、私はこの裏表の1枚物でございます。ここに書いてあることはざっとでございます。ただ、まず参加者のところで、わざわざ県別に私、数を数えて書いたら、千葉県からこういうすばらしい機会なんですけれども、22名参加なんです。うち5名が松戸なんです。全然参加していないところが多数あります。ということと言いたかったというだけで、あとは地元石川県が108名ですから、本当にぜひこういう機会は逃さず今後も行ける人が行くというところがかかわっていききたいというふうに思っています。

それから、括弧書きで番号を振っていないのでわかりにくいんですが、次期の学習指導要領の改訂について勉強させていただきました。これはぜひ専門家の解説にお任せしたいと思えますけれども、やっぱり新教科というか、外国語活動が教科化になるというあたり、そこを中心に私は今回、その英語教科化というのがその次ですね。前橋市の取り組みと七尾市の取り組みをお聞きしました。ここを通して感じましたのは、松戸市の取り組みは非常に先駆的に教材づくりから入ってすばらしいものであるというふうに自負をしておりますし、今でもそうだと思うんですが、ただ、ほかはほかでいろんな取り組みをやっているというところ。ALTと一般にいわれる外国人の教員をどのように配置するかあたりを中心に、ほかのところはほかのところですごい特色あることをやっている。

それから、七尾市という小さな市では、オールイングリッシュの授業を中学校でも実現しているというようなことで、これがその地区での進学校の高校、七尾高校と組んでそういうことがもう既に実践の段階に入っていて、小学校でもオールモースト・オールイングリッシュという言い方をしていましたけれども、もう英語中心の授業というものをやっていっているというようなことのお話がありました。そういったことが非常に興味深かったところあります。

後ろ面の感想・意見・質問というところがございますけれども、2行目なんです、文科

省の情報はとても重要です。やっぱり文科省がどっちを向いているかを追随するどうのこのじゃなくて、やっぱり情報がなければ私たちも議論もできないところで、やっぱりこういうところに行って聞いてみるというのは非常に大事でした。ところが、大変すばらしい資料で、今日、山形委員が持っていらっしゃるのがそうだと思うんですけども、あれですか。

**山形委員** そうです。

**教育長職務代理者** 立派な資料を突然当日渡されて、うわっと斜めに読んで、それで話を聞くと。文科省のそこに来られた方が、圓入さん、すばらしい頭のいい方で、早口でですね、もうついていくのが必死という話、ただ、本当に要点をかいつまんですばらしいお話をしてくだけれども、これは何とか、無理なんでしょうけれども、1日前にでもデータでももらっていたら、家で前の日に2時間でもぼっと斜めに読んでいったら、全然違うのになとか、もし事前に送っていただければ非常に深いものになるのになと思いました。これはいろんな物理的な制限もあると思います。

それから、6ポツぐらいのところに書いてあるんですけども、日本語と英語の関連づけの可否という質問を、私は分科会でさせていただいたんですけども、英語を中心にやっていくということの、英語、外国語が大事なのか、それともそういう感じる力とか思考力とか表現する力とか、そのもとにある日本語分野が物すごく大事なんじゃないかという、松戸市の言語活用科みたいなことが頭の下敷きにあって、こういう質問をしましたところ、ふだんは全然しゃべらない子が英語だと人が変わったようにしゃべるといような例があったというのが七尾市の教員の方からお話がありました。それはそれですばらしいことなのか、やっぱりその根っ子にある日本語としての感受性とか表現する力とか、あるいは興味ですね、何かに興味を持つとか積極的になるとか、そういったところへの取り組みが相まって進むものなのかどうなのかというところが、ちょっとそういう視点で今回聞いていたときに、ああ、これもありなのか、どうも違和感が感じるなと思いながら感じたということ、そこに書いてあります。

あとは大した記載ではありません。ただ、いわゆる文科省の説明も、尻上がりに2日目に向けてどんどんやっぱり詳細にわたってコメントが細かく深くなって行って、非常にすばらしいお話が聞けたと思いますし、やっぱり実践をしている、今回は七尾と前橋でしたけれども、実際の話、あっちこっち聞かないとやはりわからないなと思った次第です。

一応私からは以上でございますので、あとは資料をご一読ください。

山形委員、それではいきましょうか。



**山形委員** 山形です。

10月に委員にさせていただいて、このような機会を本当にありがとうございます。金沢自体も行ったことがなく、本当に文化的な街だなと思いました。

参加者の人数344名と書かせていただいて、全体を見回して、私は一番若いかもしれないと思ったのが現状でした。あと女性が3分の1弱という形でした。比較的若いほうだと思うので、こういう貴重なお話を参加できないときに動画配信などをしていただけたら、遠方の人でも見ることやお話を音声だけでも聞くことができたりとか、私も山田委員がおっしゃったように、膨大な資料を事前に読むことができれば、もう少しお話を聞くスタンスがとれたのではないかなと思いました。

ざっと自分が文科省の方が言っていることをかいつまんで、資料の点のところに書かせていただいて、資料の四角のところが山形のその話を聞きながらのいろいろな感想だったんですけども、2020年の大きな変革に向けて、文科省が生きる力をというところで、生きて働く知識、技能、未知の状況にも対応する思考力、判断力、表現力、あと学びに向かう人間性というところをすごく押してきているというか、こんなに変わっているんだというのにとても驚きを感じました。主体的な対話とコミュニケーションの重要性を再度感じたのと、先生たちの人材育成への課題も大きいのだなというところを思いました。

英語について文科省の圓入さんという方がお話ししたところでも、先生の育成について今後課題があるとおっしゃっていたのが印象的でした。初めて聞く言葉がたくさんあった中で、ちょっと気になったところとしては、小学生が、90%ぐらい英語が好きだと言っているのが、中学校1年生になると70%に減少するというデータが中にありますので、もっと学びたかったこととして、英語の文章になれるような、単語になれるようなことをもっと小学生のうちに学びたかったというところがあったので、そういうところを今後の参考になるのかなと思いました。

七尾市の取り組みは本当に素晴らしいなと思いました。この近江教育長さんが指導の中で3ページのところにちょっと太文字で書かせていただいたんですけども、指導の中での重要な4つ、「アイコンタクト」、「スマイル」、「クリアーボイス」、「ジェスチャー」、英語にもとても重要なことであるんですが、日本語にとってもこれはすごく重要なことだなと思いました。いろいろな教材等々も重要なのですが、やっぱり指導する上で、そこが大事なのだなというのを、七尾市のお話を聞かせていただいて、すごく腑に落ちました。

写真が下のほうがロビーのほうに石川県の県立高校の展示物があったので、載せさせてい

いただきました。工業高校で、ちょっと1枚載せなかったんですけども、橋の模型をつくられていたりとかもして、学生たちの活動がよく表現されていたと思います。私は分科会のほうで家庭と地域の連携した食育推進というところ、4ページになります。そちらのほうで村上市と輪島市の取り組みを聞かせていただきました。スーパー食育スクール事業というのに2市はかかわって、村上市は3つのサケというところで、「シャケとお酒と情け」というところからいろいろな活動を取り組んでいるというところでした。

大学と協力して食と学習意欲を検証するという取り組みが行われていました。あとは実際にどんなふうに取り組んでいったかというところは、資料にもありますが、道徳、国語、学級活動、あと家族の方と一緒に呼んで料理をする家庭科などもやっていました。とても興味深かったです。そしてシャケが、小学生が人工授精をさせたものを中学生が今度放流をしてという流れがあり、その後中学生がそのシャケを塩引きといって、新巻鮭のようにするんでしょうかね、伝統料理にして食べるという、命のリレーというところで、すばらしい活動をしたんですが、食育と学力の意欲の向上の実証データがなかったんです。しかし、学力調査の向上はあったというデータはあったそうです。

輪島市のほうは、有名な輪島塗などを使いながら、伝統と里山、世代をつなぐというところを伝えられていて、輪島の食器を使ったり、箸づくりなどをしていたり、現地の尼さんも文化財に指定されているので、そういう方の講演を聞いたりなどなど、すばらしい取り組みをされていました。この写真の下のほうにあるお菓子が、輪島高校の学生さんがイシズというものを使ってつくられたものだったそうです。

食育のお話を聞いて、村上市は家族の方が参加するケースが多かったんですけども、輪島市は授業参観率は15%とか、あと朝食はとれていないというところで、ちょっと家庭の力の部分が少し連携力が少ないのかなと思いましたが、子どもたちのアンケートからは、感謝の心などが熟成されていたので、この食育のところもすばらしい活動だったと思いました。

その次に、視察のところで写真をちょっと多数上げさせていただきました。21世紀美術館全体像が撮れなかったんですけども、円形の美術館でした。無料の入る部分のところでプールがあって、見せかけのプールで、上数センチが水が入っていて、そのあとアクリル板があって、下から下の人は有料の人みたいに、お金を払った人は下にいらっしゃる人みたいな感じだったんですけども、すてきなプールでした。間違っって入ってしまいそうな感じでした。

その下に丸見えすくすくステーションというのがありまして、私は子育て支援をしている

ので、どうしてもこういう子供たちが楽しめる、親子で楽しめる視点というところを必ず見たくて、こういう場所がありました。20畳ぐらいのゆったり靴を脱いで寛げるスペースがありました。そこで親子で安心して過ごせるのと、アートプログラムなどもあったので、こういう親子が美術に触れるということを歓迎するような姿勢の施設の見せ方というのはすばらしいなと思いました。

あと、次ですね、金沢海みらい図書館の視察につきまして、その場所がバスで駅から多分10分ぐらいなんですね。バス路線がすごく金沢は栄えていたんですけども、メインとちょっと外れる形の場所にありました。平日の午後でたくさん人はいらっしゃる感じではなかったんですけども、コンスタントに席は何個か座っているかなという感じでした。外観はとても本当に美しかったです。

入るとすぐにイベントが行われていまして、子供を巻き込んだアート作品をつくるワークショップと展示というのをやっておりました。使い終わったおもちゃを集めて、アーティストの方がこのような作品をつくっていました。それにかからめて図書館のほうもつながった絵本の展示などをしていました。1階が児童書と貸し出しスペース、休憩場所等になっておりました。絵本の位置が大体130センチぐらいの本棚で、お子さんがちょうど見やすい高さだと思いました。絵本の名前がカテゴリ別ではなくて、あいうえお順になっているというのはすばらしいなと思いました。

トイレの表示が子供の目線になっておりました。また鍵が余り見たことがなかったんで、すぐ撮ったんですけども、子供って誤って鍵をかけてしまうことが多くあります。あけてと言ってもわからないんですね。でも、ここは少しすき間があって、人差し指が大人が入ります。そこでくっと上げるとすぐ扉があくようになっているので、子供のことをよく考えてある設計と思いました。

授乳室がもちろん設置されていて、それも絵本コーナーの中に2席ほど広々とお湯も全部完備されているところでした。

閲覧コーナーも、子供の目線で靴を書いてあるだけで、ああ、ここは靴を脱ぐのかなという印象がとれました。1Fはすごく光の採光が入って明るくて過ごしやすそうでした。

2階のほうに上がりまして、階段とエレベーター上れて、2階のほう、職員の方は3人ほどいらっしゃって、本の相談の席に座っていらっしゃいました。あとは本の地図が書いてありまして、全体は本当に普通の図書館の天井高が高く、自然光が美しく入っていて、学習スペースがこの壁沿いにぱっと並んでいる形です。一番下のほうの左側の写真が、椅子があっ

て、ちょっとわかりづらいんですけども、赤い丸があって、上にぷくっと伸びているのがライトになっていました。夜はその窓と同じサイズのライトをパチッとつけて学習ができる様子が見受けられました。3階は情報フロアと地域の本でした。

席は多い感じがしたんですけども、一般的な学習室等の自習室というような形ではなくて、本当に並んで座るような形なので、余り群れない形なので、そういうのでは今どきの若い方にはいいのかなと思いました。

全体像を見て、すごく天井高が高いので、冷暖房費の維持費はすごくかかるんじゃないだろうかなとか、あと耐震のことですね。柱も細い感じがしたので、そういうところの構造が気になりました。ただもう本当に美しいですし、これを見たくて来る方は、アクセスが悪くても絶対に行きたいと思われる方は多いなと思いました。全体を通して地域の特性を本当に生かしていかなくちゃいけないんだな、教育にはというのを再確認させていただいたのと、あつと、今回の研究会は学習のことではあつたんですけども、このピンクの冊子の中で、幼児教育に関しては、1ページの3分の2ほどしかなかつたんですね。もう少し取り上げていただきたいなというところを感じる次第だつたのと、まだまだ私も勉強不足な部分があつたので、ますます学んでいって、2020年の本当に大きな改革に向けて教育委員として役割を果たしていきたいなと思いました。

以上です。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。それでは、伊藤委員には、ぜひちょっとよく要点をまとめていただいているので、まずこちらについて、今の2人からの報告も含めて、まとめていただきますと大変ありがたいなつと、無責任に申し上げますが、よろしくお願ひします。

**伊藤委員** もう2人がかなり詳しくお話しされたので、私は短く済まそうと思ひます。

この紙にあるとおりなんですけれども、パネルディスカッションとあつと分科会もあわせて同じようなテーマだつたのでまとめました。テーマは小中学校における英語教育ということで、ポイントは5点に絞りました。次期学習指導要領が、2年後に先行実施され、さらに4年後に全面実施ということで、ポイントは小学校の3年生、4年生から英語学習が始まって、外国語活動ですね。それから5年、6年の英語が教科化されるということで、それに対する対応で、特に授業時数、年間35コマ増えるということで、それをどう吸収するかということで、いろいろ工夫してお願ひをしたいということで、前橋市と七尾市では、それぞれモジュール化で対応したり、土曜授業を実施して対応しているということのようです。

それから、先ほども話がありましたけれども、そういう英語を小中高と一貫してやるわけ

なので、それぞれが連携をとってやってほしいということで、七尾市の場合は、そういう英語力の向上推進事業を立ち上げて、高校の指導法を学ぶ研修会を実施したり、中学校のALTを小学校へ月2回ですけれども、派遣するとか、いろんな取り組みを現にやってきて、さらにこれを強化していくということですね。

それから、英語の教員の英語力と指導力をこれから強化しなきゃいけないということは問題意識として相当強く持っておられて、そういうリーダーを養成して、そのリーダーが中核教員に指導法等を伝達し、さらに、その中核教員が全教員を対象に研修を実施していくという取り組みをしていきたいということでした。その過程で英語の教員の海外研修について聞いてみたのですが、費用が非常に多くかかるということで、続けられずにやめた自治体もあるという紹介がありました。

ただ、私自身はどこで研修するかにもよるんですけれども、やはり実際に外国人に対する英語の教え方をきちんとやっているところに、研修をしに行けば、すごく大きな成果があるんじゃないかと考えていますのでやっぱりその海外での研修というのは必要だなと私自身は思っております。

他方、文科省が26年度からブリティッシュカウンセルと連携して、英語の先生を国内で研修することを、もう既にやり始めているということですので、そういったところで国内研修をやっていくということも十分いいのではないかなと思われまます。

また、東京を初め、いろんな自治体が英語村というのを開設して、実際に英語教員を派遣して、英語の教育の指導力を高めるためのいろんな取り組みもやっているということの紹介もありました。

それから、教材については、文科省のほうでも中心となって、新教材あるいはまた補助教材なんかを開発も進めているということです。

それから、JETプログラムについては、各自治体のほうで相当多数受け入れているんですが、海外からの受け入れに伴ういろんな手続で、例えば部屋を確保したりとかいろんな生活のサポートをしなければいけない等の大変な苦勞があるわけですが、文科省のほうで今年度からJETプログラムコーディネーターを自治体が採用するときに、その採用経費を特別交付税措置で支援をするというようなこともやっているんで、そういう人を採用する場合には、申請ができるということで、文科省としては、JETの特に英語指導を行うALTについては、これからも進めていきたいということのようです。

以上です。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。とてもこの短い時間では報告できないんですが、大西さん、一言、その後、藤中さん一言。

**教育企画課課長補佐** 随行させていただきました教育企画課、課長補佐の大西です。

まず、全体会についての感想なんですけど、参加された委員の皆さんからも英語教育に非常に話が集中したという話があったと思うんですが、自分も英語教育が必要になっているということを強く意識しているなということは思いました。現状として、2000年代から韓国やベトナムの後塵を拝していると認識しているようで、かなり強い危機感を抱いていると感じました。そのことは演題が、次期学習指導要領の目指す姿についてという題名だったにもかかわらず、内容が全て英語教育だったことから感じられました。

2日目の分科会についてなんですが、私は、インターネットの適正利用という分科会に参加いたしました。内容としては、中学校の生徒さんの携帯・スマホについてでした。携帯・スマホの利用がいじめなどの温床になっているという認識が、事例発表を行った群馬県館林市と石川県小松市にはあり、両市は非常に強い危機感を持っているなという感じがいたしました。

取り組みとしては、いずれの市も生徒さん自身に携帯やスマホの使い方を考えてもらうという点で共通していました。中の報告で、親が携帯やスマホを使っている時間が長ければ長いほど、子供の使用時間も長くなるという指摘がありまして、それに関しては耳が痛い思いをいたしました。

研修会が終わった後に、21世紀美術館と海みらい図書館の見学をさせていただいたんですが、海みらい図書館に関しましては、イギリスのBBCで世界のスーパーライブラリーベスト4に選ばれていたりですとか、アメリカの旅行ガイド誌で、世界の魅力的な図書館ベスト20に選ばれているような図書館で、外観が非常に斬新でして、中も広々として気持ちのいい図書館でありました。

ただ、山形委員もおっしゃっていましたが、採光等、読書するにはどうなんだろうということもちょっと疑問に思ったところもございます。

また、先ほど山形委員から子供図書館についてお話しがありましたが、自分とは見方がまるで違う山形委員のお話を聞いて、こういう視点があるんだなというふうに非常に感銘を受けました。

以上でございます。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。藤中さん、お願いします。

**教育企画課主査** 教育企画課、藤中でございます。委員の皆様、お疲れさまでした。

私からは、2日目の第三分科会について感想を述べさせていただきたいと思います。

私の出席しました第三分科会は、テーマが家庭、地域と連携した食育の推進というテーマでございました。感想といたしましては、文部科学省では第3次食育推進計画の中で、学校における食育推進項目の一つとして、学校給食への地場産物の活用を掲げている中、村上市、輪島市ともに地域特性を生かした地産地消をベースにした食育の推進が行われていることが、大変すばらしく、いい事例だったと感じました。

ただ、全国的に考えますと、各自治体が抱えている児童・生徒数に対する地産食材の供給量やコスト面など、さまざまな課題が考えられますので、確かによい事例ではございますが、同様のことを首都圏で行うのは非常に難しいのではないかなと感じました。

その他、取り組みの中で、食に対する関心や、食事の作法といった部分が出てまいりましたが、我々が子供のころは、そういった食に対する関心や作法といったことは、家庭の中で教わってきたような記憶がございます。ただ、最近はその様な教育を学力との相関関係をひもづけて、学校に求められている時代なのかなという部分も感じて、少し寂しさを感じたところですが、ただ、そこは輪島市の取り組みでは、うまく地域の人たちを取り込んで、例えば、先ほど山形委員からもお話がありましたように、輪島市ですので、輪島塗の職人の方であったり、その他、海女、農家、お寺などの地域の人材を生かした活動が盛んだという話を伺い、地域の学校支援を含めて上手に設計されているモデル事業だったのかなという感想を持ちました。

以上です。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。ここまでが、まず金沢です。よろしいですか。

私、最後につけ足しで恐縮です。ほかの市からは指導課の職員とか責任者の方も出席されておられました。もちろん松戸市で情報に漏れはないと思いますけれども、そういうような形でご出張いただいて、直接こんな話を一緒に聞く機会がまた指導課のような立場の方がされるのも、またいいんだろうなとは思いました。たまたまちょっとほかの市でいたので目についたということでございます。

**伊藤委員** ちょっとコメントいいですか。

山田委員がさっきおっしゃった資料ですけれども、私も今までいろんな文科省の研修に参加したんですが、渡されるのは必ず当日ですよね。だから、恐らくこれは好意的に解釈すれば、恐らく直前まで編集とかやって、あと地元で恐らく製本されていると思うので、恐らく

そういう希望を伝えても、事前に各参加者にわたるということは、ほとんどまずあり得ないのかなど。私も役所にいた経験からいうと、なかなか難しいのかなというふうに思いました。

ただ、本当に非常にいい資料なので、やっぱり帰ってきてからじっくり読むと、ああ、何だ、あれはこういうことだったのかとか、そういうことでわかっていれば、そのときにもっとよく理解できたのにとか、あるいは質問することもできたのにとかいうふうに思うことが多いので、それは全く同感なんですけれども、ちょっとやっぱり難しいのかなという、それを乗り越えて我々は何とかしなくちゃいけない。

**教育長職務代理者** そうですね。我々の研修等だと、事前に数日前にアップなんですよね、資料が。これだけの量を上げるのは大変なんですけれども、でも、そんなことは多分やればできるような気がするんですよね。いや、これはだからどこに載せるのか、閉鎖的にやるのかどうかはちょっと難しいところはありますけれども、でも、公表資料でこうやって外にどうせ出るものであれば、製本に入ってからやっぱり時間がかかりますから、ここで言ったってしようがないので、いずれ機会があれば。はい、でもおっしゃるとおり、簡単に言ったってできることじゃないというのはおっしゃるとおりということです。金沢は以上で終わらせていただきます。

教育長、よろしいですよ、金沢について。

**教育長** 行きたかったんですよ。

**教育長職務代理者** 行きたかったというじゃ……

**教育長** いや、金沢とか群馬が出ていて、ああ、なるほどなと思ったんですけれども、パイロットスクールの計画をつくるときも、それから、言語活用科をつくるときも、金沢市の英語についての取り組みはライバルだとは言えない、もう常に向こうが先手だったんで、私としてはすごい勉強になっている自治体です。

そういうことを受けての石川全体の英語への取り組みが、ああ、なるほどなというふうに、今、報告を伺ってまた感じました。何とか追いつきたいんですけれども、独自の教材開発も金沢市はすごい、東京書籍と提携して、すごくいい教材をつくっているんで、いろんな意味で英語教育については参考になる自治体だと今でも思います。群馬は群馬でまた独自の取り組みをしているので、そういう意味で、2つの事例をいろいろ勉強されたのは、やっぱり行きたかったなという、指導訪問がなければ行く予定だったんですけれども、すごく残念に思います。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。



それから、伊藤委員から順番が逆で大変恐縮なんですけど、10月の千葉県の教育長・教育委員研修会というのがありまして、そのご報告もいただいておりますので、ご説明をお願いいたします。

**伊藤委員** 1枚紙にポイントだけまとめました。いろんなポイントがそれぞれ1行で書いてあるので、それを見ていただければと思います。

全体会は、これまでも何度かこういうテーマがあったんですが、新しい教育委員会の取り組みにおける現状と課題ということで、県や各自治体のほうで新しい教育委員会制度に今現在どういうふうに、対応しているかという紹介が幾つかあって、それでちょっとおもしろそうなところだけを書き出したということです。

特に総合教育会議をいろんなところで既に何度もやっておられて、やはり首長さんの教育への理解が深まって、予算面でも効果が高まっているとか、割とポジティブな好意的な反応が出ていました。

それからあと、ちょっとこれはおもしろかったのは、教育委員会の発信性というか、ビズビリティを高めるために定例会議を、今我々こういうところでやっておりますけれども、その管内の学校でやるというところもあるようでした。例えばこの間、いじめ防止対策委員会の定例会議を第5中でやりましたけれども、あんなようなことかなというふうに思いましたけれども、そういうことをやって、どの程度そういう発信性が高まるかどうかは、ちょっと私もわからないんですけども、一つのそういう試みもあるのかなというふうに思いました。

それから、分科会は学力・学習状況調査を活用した学力向上についてということで、県のほか長柄町、山武市、佐倉市のほうから現状の紹介もあったんですけども、ちょっとおもしろかったというか、気になったのは、特に佐倉市では、国がやる学力・学習状況調査に加えて佐倉市にある教育センターが、もちろん国のものもやるんですけども、それに合わせて小学校1年生から中学3年生までの全学年で学習状況調査というのを毎年実施しているということで、そのほか好学チャレンジテストという何か一つのクイズみたいなものを夏休みにやって、これは希望者だけ対象にやっているんですけども、そういうことにはかなり大きな力を入れてやっているのが非常に特徴的でした。

またこうした学習状況調査結果を子供たちや保護者にどうフィードバックするかという点については、例えば山武市なんかはなかなかそれができていませんというふうに言っていたんですけども、佐倉市などは教育センターが中心となって先生たちへのフィードバック、

あるいはその先生を通じた生徒、あるいは保護者へのフィードバックなんかもかなりやって、それをどう今後の学力の向上に取り入れていくかということで、改善策を提示したり、なかなか積極的にやっている様子がうかがわれました。

以上です。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。

教育長はこれは行かれたんですか。

**教育長** いや、これも行けなかったんです。

**伊藤委員** いや、誰も行っていません。大西さんと二人だけでした。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。よろしいですか。

それでは、もう一つだけやっちゃいましょう。

以上で視察等の報告は終わらせていただいて、視察というか研修の報告は終わらせていただいて、あと、学校訪問がこれで終わりました。資料を出してどうこうということではないんですけども、そういったことに関して感じたことがあれば、この場でご報告をいただくということを、ちょっと時間とらせていただきたいと思います。あれば結構でございます。無理にということではありません。もしご感想があればお聞きしたいと思います。ぱっと手が上がれば。

**武田委員** いろんな石川県の報告をありがとうございます。分厚い資料を家へ帰って熟読したいと思います。

学校訪問なんですが、すみません、私も秋に集中してしましまして、伺わせていただいたのが、横須賀小と、あとかねてから気になっていた東松戸小学校、こちらの2校に伺わせていただきました。

中身の前に、まず学校の状況で随分と違うなと思った点が1点、立地条件ですね。横須賀小は、大きな道路と川と、それと反対側が学校です。騒音とかそういうものに対しては全く遠慮なく子供たちが伸び伸びと過ごせるような環境にあるのに対して、やはり新しくできて、場所も限られた中でつくられた東松戸小学校のほうは、余りにも、もう学校から外を見た瞬間に家がすごく隣接しているというところで、いろんな問題とかいろんなコミュニケーションなんかの必要性みたいなものを想像できるように思いました。その環境の違いというのが、どういうふうに出てくるのかなというところに、ちょっと興味を持ちました。これは以後、そういうことを考えていかなきゃいけないのかなというふうに思いつつ、うまく地元になじんでいってくださったらいいなと思いました。

相変わらずもう学校訪問で、学校の校長先生等の経験者の方たちのお話を回る前に校長室でお伺いしたら、やはりさすがプロだなというか、展示物とか教室の雰囲気を見ただけで、ある程度いろんなことが把握できるというふうにお伺いして、私にはそういうのを見抜く目がないというところに、プロとそうでない人間の差を感じました。

今回少し時間がありましたので、ふだん給食までで失礼するんですが、各科指導をされているところに参加させていただいて、たまたまやっていた授業が図工で、ちょっとおもしろいものをやっていたので、そちらを拝見させていただきました。

本来でしたら、拝見するのみでいようと思っていたんですけども、研修を受ける若手の先生お一人と、指導する中堅層、11年目の先生がお一人ということでしたので、何となく車座のように参加させていただきました。ほかの5教科と違って図工ということに関して、私の意見をちょっとそこでも言わせていただいたんですけども、学校の中の5科で必ずやらなければいけないものというのは、もう間違いなくその指導要領によるところだと思うんですけども、事図工というのは、音楽だの体育よりも果たして両親とかそういう方がその評価に対して余りセンシティブになるかどうかといたら、そうではない唯一の科目といってもいいような気がするんですね。

その中で、若い先生に対してすごく気になったのが、教科書にある見本がベストであると思って指導しているという点ですね。現実的にはそこを規範にするしかないのだとは思いますが、事実はそうではなくて、英語のときもそうでしたけれども、楽しめてやっているものが年齢を経ると楽しめなくなってくるという事実が、唯一拵拭していいんじゃないかというのが図工だと思います。横須賀小でも東松戸小学校でも非常にきれいに廊下に展示物がしてあったんですけども、とてもよく似ているというところがすごく気になりました、私は課題に忠実というか……。皆さん上手でした。ある意味驚いていますが、非常に絵が似ているというところにも驚きました。

それは、どこによるところなのか。先生たちはどういう点を重視して教えているのかというところが気になりました。個性というものをどう見るかということ、美術とか図工に限らず反映されるべきなんだと思いますが、一番自由でいられるところだけでも、個性というものの拾い方を少し考えてもいいのではないかというふうに思いました。

以上です。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。伊藤委員はご報告、お願いします。

**伊藤委員** ただ、私の場合、大分前のことだったので、記憶もだんだん薄れちゃってもっと早

く報告すればよかったんですけども、たしか春に小金中学校ですね。それから7月の頭に上本郷第二小を訪問させていただきました。小金中学は、教育長が以前おられたわけですが、ちょうど平成21年に新松戸北中学校と一緒に、400人ぐらいどっと入ってこられて、ちょうどそのときに建物も新築されたので、きれいで、非常にまだ新しく感じられて、皆さん、気持ちよくというか、訪れても気持ちのいい環境で勉強できるんで、それだけでも恵まれているんだなど。特に後から見た上本郷第二小が非常に古いものですから、それとの比較でもやっぱりそういうところが、やっぱり環境は大事だなというふうに思いました。

ちょっとおもしろかったのは、アップルタイムといって、毎朝10分程度英語の学習を中学校で取り入れているということで、それを全体でどういうふうにその時間の中で扱っておられるのか、合計していわゆるモジュールみたいなあれでやっているんだと思うんですけども、そういう積極的な取り組みもいいのかなというふうに思いました。

それからあと、言語活用科での学習を特に道徳とか理科なんかの授業にも取り入れておられるということなんですけれども、できればそれ以外のいろんな取り入れ可能な教科にももっと取り入れて、言語活用科をもっと活用していただければなというふうに思いました。

それから、上本郷第二小のほうは、さっき言いましたけれども、古い建物であり、それからあと7月上旬でしたので物すごく暑かったんです。まだもちろん当然冷房も入っていないので、見て回るだけでも大変だったんですけども、そういう状況なんですけれども、皆さん子供たちはみんな元気で、もうどこの学校でもそうなんですけれども、皆さん非常によく挨拶をしたりして気持ちよくてよかったです。

それから、特別支援学級の教室もを見せていただいたのですが、そうした子供たちに対する特別支援体制というか、そういったものもしっかりしているようなので、それはぜひこれからも続けていっていただければなと思いました。

それから、学校の便覧を見ていて、ちょっと気になったのは、平成3年にソ連から宇宙飛行士2人がこの学校を訪問したというふうに書いてあるんですけども、これはどうしてこのタイミングで、どうして上本郷第二小に来たのか、非常に興味があったのですが、誰もわかる人がいなくて残念でした。ソ連の宇宙飛行士が松戸に来て上本郷第二小学校を訪問したというのは、何か意外な話なので、その辺のところをもうちょっと詳しく聞きたかったんですけども、その後も別に調べていないのでわかりません。

それから、こうした学校訪問については私のイメージとしては、1年間に中学校と小学校を1つずつ訪問すればいいのかなというふうに最初はお聞きしたときに思っていました。し

かし、その後いろいろお話を聞いていると、別に1校ずつに限定しないで来年度はもう少し行ってもいいのかなど、行ったほうがいいのかなどというふうに今思っております。

ただ、学校を短時間訪問しても、私は、教師の経験もないので、どこをどう見たらいいのかとか、そういうのがなかなかわかりにくいということもあるんで、そこはできれば、できるだけ勉強しながらやっていきたいと思うんですけれども、今は各教科を何か全部見るような感じでそれぞれ各教室を5分ずつでもぱっぱと見ていますよね。私としてはああいうやり方ではなく少し教室を絞って、もう少し長い時間見て全体の流れがある程度わかるようなところまで見られたらいいなあというふうに思いました。ただこれは皆さんの長年の経験でやっておられることなので、ちょっとそう一概に言えないんですが、なかなか我々が訪問しても何か皆さんとは確かに受け取り方が違うんで、ちょっと難しいなと思いましたが、非常に一般的なコメントしかできなくて申しわけありませんが、そんなところです。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。私は7月4日だったと思いますけれども、六実小に伺いました。本当にさしたるコメントはないんです。ただ老朽化、施設の老朽化が非常に気になるというのが1つ。それから先ほども大体もうおっしゃっていただいたんですけれども、特別支援学級あるいは個別の対応等は、非常にやっぱり綿密に行われているということは確認をさせていただいております。

ただちょっと私はやっぱり伊藤委員がおっしゃるとおり、なかなかやっぱりああいう見方ではわからない部分もあるんだろうと思うんですけれども、やっぱり学校の先生方がどれぐらい繁忙になっているのかというあたりもですね、実態も、計画訪問はもう計画性があるって、ちゃんと準備されていますので、それに従ってやりますから、そこまでは見えないんですけれども、やっぱり学校の実態というものについて、なかなか1回見ただけではわからないなというようなところを感じました。

教育長、よろしいですか、これは。

**教育長** やつと行っていただけのようになったんですよ、実は。就任当時、すぐにいろいろ計画はしたんですが、最初はなかなか反応が思わしくなくて、行けなかったんですよ。今、伊藤委員さんからもあったように、やっぱりこうやって議論するのも、実態をどのぐらい知っているかというのは、すごく大きいことなので、学校教育に関しては、学校の様子をやっぱりたくさん見ていただかないと、本当のところはなかなか見えてこないというところがありますので。私たちは計画上、ああいうふうに見て回らないと、あの一日を有効に使うためには、あの回り方が今のところは一番いいなという、経験上もそういうことで回っています。

今武田委員さんからあったように、例えば図工の時間をもっとじっくり見たいのであれば、図工の時間だけ、各担当の指導主事は図工なら図工にずっとついているので、それと同じように、そこについていただいてもいいですしとか、いろんな見方がそれはできると思います。

ただ、計画訪問のときに一緒に見ていただくことが、学校にとっても一番合理的なわけですね。別にほかの準備が要らないわけなので、どうしても私たちが行くとなると、向こうはそれは意識はしますので、そういう意味では、何とか時間をそうやって、こちらで計画してそこに乗ってもらうというのが一番向こう側にとってもいいのかなと思います。ぜひ回数を増やしていただいて、いろんな目線からいろんな意見をいただければなというふうに思います。よろしくをお願いします。

**教育長職務代理者** ありがとうございます。

それでは、一応準備をしていただきましたので、予定より大分考えていたよりも遅くなっただけですけども、一応以上、その他ということで終わらせていただきたいと思います。

そのほかよろしいですか。

それでは、議事進行を教育長にお戻しいたします。よろしくをお願いします。

**教育長** お疲れさまでした。

次回の教育委員会会議の日程について、事務局からお願いします。

**教育企画課長** 平成29年1月定例会でございますが、平成29年1月12日木曜日、午後2時から、こちら5階会議室で開催されてはいかがでしょうか。

**教育長** よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

**教育長** それでは、確認いたします。

次回教育委員会会議は、平成29年1月12日木曜日、午後2時から、教育委員会5階会議室にて開催いたします。

---

◎閉 会

**教育長** 以上をもちまして、平成28年12月定例教育委員会会議を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午後 3時46分

この会議録の記載が真正であることを認め署名する。

松戸市教育委員会教育長

松戸市教育委員会委員